

第2学年 外国語科学習指導案

令和4年 5月 13日 2校時
那覇市立仲井真中学校2年2組 32名
指導者 川上 真紀

1 単元名 Lesson1 Service Dogs 『ONE WORLD English Course II p.9～p17』

2 単元の目標

- (1) 「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞(think など)＋that で始まる節」「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」を用いた文の構造を理解することができる。【知識】
- (2) 社会的な話題について、自分の考えや気持ちなどを「主語＋動詞(think など)＋that で始まる節」「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けることができる。【技能】
- (3) 自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（世の中の様々なサービスや介助犬）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどをして伝え合うことができる。【思考力、判断力、表現力】
- (4) 自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（世の中の様々なサービスや介助犬）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどをして伝え合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年度告示）の「話すこと（やり取り）」に関連する内容を取り扱い、「ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする」ことを目的とする。

言語材料は、「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞＋that で始まる節」「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」である。

題材としては、さまざまな介助犬についての役割や問題点といった身近な社会問題について取り上げられている。このような身近な社会問題や日常的话题について、読んだ情報をもとに、自分の考えや感想などをまとめ、意見を伝え合う機会としていきたい。

(2) 生徒観

生徒たちは互いに協力してペア活動に取り組み、特に「話すこと（やり取り）」の活動では間違いを恐れずに意欲的に取り組むことができる。しかし、1学年次で行った「話すこと（やり取り）」のパフォーマンステスト（前年度12月実施）では、「相づち」「関連する質問」「プラス1文」をすることを駆使して会話を継続することに課題がみられた。

前年度3月に行われた県学力到達度調査では県平均を－4.4ポイント下回っており、「話すこと（やり取り）」の領域において、県平均との大幅な差がみられ課題が残った。（図1参照）

【図1：R3年度 沖縄県学力到達度調査「話すこと（やり取り）」の結果】

	領域	評価の観点	正答率	考察と分析
1	話すこと（やり取り）	場所に関する基本的な表現を理解して応答することができる。	25.6%	△疑問詞（Where など）に関する知識が定着していない。 △前置詞（under など）に関する知識が定着していない。 △基本的な語彙（tree など）の知識が定着していない。
2	話すこと（やり取り）	基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる。	56.6%	△be 動詞の欠落しており、文構造の知識が定着していない。

				△reading book などの冠詞に関する知識が定着していない。
3	話すこと (やり取り)	日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて相手からの質問に回答することができる。	38.0%	△現在進行形での応答するなど 時制の使い分けができない。 △基本的な語彙 (on weekend) の知識が定着していない。

「読むこと」の領域においても、県の正答率を下回っており、日常的な話題について「話の概要を理解すること」や「必要な情報を読み取ること」に課題がみられ、基本的な語彙や文法の知識・技能が十分に定着していない状況が伺える。

また、本校で実施した英語学習に対する意識調査の結果（4月実施）から、「話すこと（やり取り）」は、生徒たちにとって「書くこと」に次いで苦手な分野であることが伺えた。「話すこと（やり取り）」が苦手な理由として、「単語・文法が分からない」「答える方法を考えるのに時間がかかる」「頭ではわかっているのに口に出てこない」「話すことに自信がない」などが挙げられた。更に「特に力を伸ばしたい領域は何ですか？」という問いに対して、「話すこと（やり取り）」の回答が一番多かった。

以上のことから、基本的な語彙や文法の知識・技能を身に付けることを目指し、継続的な「話すこと（やり取り）」や目的に応じた「読むこと」の活動を通して、既習表現を繰り返し使用する場面を設けていく。

(3) 指導観

「話すこと（やり取り）」指導においては、「Chatting Time Sheet」を活用し、Warm-up 活動で「話すこと（やり取り）」の活動を継続的に行っていく。活動後に、会話継続のコツとなる「相づち」「質問」「プラス1文」ができたかどうかについて、振り返りの場を設け、自分自身の成長を認識することで「話すこと」に自信を持たせ、自己調整の場を設けていく。また、使用した英語表現を全体で共有し確認する場を設け、生徒が伝えたいことを正しく表現できるように指導していきたい。

「読むこと」の指導では、話の概要を理解したり、必要な情報を読み取ることができるように、単元を通して、できるだけ現実に近い場面を設定し、様々な読み物（広告、メール文など）を目的に応じて情報を捉えさせる活動を行う。また、教科書内容理解の場面では、スラッシュリーディングを軸とした音読や「Chunk-De-Go」の語彙指導を通して、生徒のアウトプットの量を増やし、大まかな内容を理解する力や基本的な語彙の定着を目指す。

本単元では、「伝え合う」活動がメインとなるため、ペアの組み合わせに留意し、さまざまな活動パターンを体験させることで、生徒の主体的な態度を引き出していきたい。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	<p>【知識】「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞(think など)＋that で始まる節」「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【技能】社会的な話題について、自分の考えや気持ちなどを「主語＋動詞(think など)＋that で始まる節」「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</p>	自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（世の中の様々なサービスや助犬）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどをして伝え合っている。	自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（世の中の様々なサービスや助犬）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどをして伝え合おうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全11時間） ◎記録に残す評価

時	◆目標（ねらい） ○主な活動等	知	思	態	備考
1	<p>◆単元の目標を理解する。</p> <p>◆ウェブサイトの「広告」を読み、引用するなどしながら、考えたこととその理由などを伝え合う。</p> <p>○試してみたいサービスについて自分の考えを伝え合う。</p> <p>①「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」を使って作成された教科書本文とは別の説明文（広告）を読む。</p> <p>②内容についてわかったことをペアで伝え合い、確認をする。</p> <p>③説明文で使われている語や「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」の文の意味を理解する。</p> <p>④自分の考えや理由を述べるときの英語表現（Because や It says, “～.”）を学ぶ。</p> <p>⑤引用しながら、自分の興味があるサービスについて伝え合う。</p> <p>⑥ペアで話した内容を踏まえ、自分の考えを書く。</p>				<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。</p> <p>活動させているだけにはならないように十分留意する。</p>
2	<p>◆対話文を読み、引用するなどしながら、考えたことやその理由などを伝え合う。</p> <p>○対話文を読んで、自分の考えを伝え合う。</p> <p>①「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞（think など）＋that で始まる節」を使って作成された教科書本文とは別の対話文を読む。</p> <p>②内容についてわかったことをペアで伝え合い、確認をする。</p> <p>③対話文で使われている語や「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞（think など）＋that で始まる節」の文の意味を理解する。</p> <p>④理由述べるために、英文を引用するための表現（It says, “～.”）を確認し、再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えを伝え合う。</p> <p>⑤話した内容を踏まえ、自分の考えを書く。</p>				
3	<p>◆メール文を読み、引用するなどしながら、考えたことやその理由などを伝え合う。</p> <p>○メール文を読んで、自分の考えを伝え合う。</p> <p>①「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞（think など）＋that で始まる節」「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」を使って使用された教科書本文とは別のメール文を読む。</p> <p>②内容についてわかったことをペアで伝え合い、確認をする。</p> <p>③メール文で使われている語や「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」「主語＋動詞（think など）＋that で始まる節」の文の意味を理解する。</p> <p>④理由述べるために、英文を引用するための表現を学ぶ。更に理由に関連する文（Plus! 文）を付け加えることを確認する。</p> <p>⑤再度、メール文の内容に関して、引用しながら考えを伝え合う。</p> <p>⑥話した内容を踏まえ、自分の考えを書く。</p>				
4	<p>◆「自己目標」に対する中間の振り返りを行う。</p> <p>◆「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」、「主語＋動詞（think など）＋that で始まる節」の文の特徴やきまりを理解する。</p> <p>○世の中にあるサービスについて説明する。</p> <p>①オンラインサービスについて自分の考えをペアで伝え合う。 (Warm-up 活動)</p> <p>②「自己目標」の達成状況について、中間の振り返りを行う。</p> <p>③世の中にあるサービスの例を提示し、説明するための表現方法（「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」、「主語＋動詞（think など）＋that で始まる節」を確認する。</p> <p>④説明するための英文を書いて、整理する。</p>				
5	<p>◆教科書(p10)の対話文を読み、引用するなどしながら、考えたことを伝え合う。</p>				

	<p>○盲導犬についてわかったことを説明する。</p> <p>①サービスドッグ（介助犬）について、知っていることをペアで伝え合う。</p> <p>②「盲導犬」についての情報を得るために、教科書を読む。</p> <p>③教科書本文で使われている語の意味や「主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞」の構造と意味を理解する。</p> <p>④「盲導犬」についてわかったことを引用しながら（The textbook says, “～.”）、ペアで伝え合う。</p> <p>⑤再度、「盲導犬」についてわかったことをペアで伝え合う。</p> <p>⑥「盲導犬」についてわかったことについてペアで話した内容を書く。</p>				<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにはならないように十分留意する。</p>
6	<p>◆教科書(p12)の対話文を読み、引用するなどをしながら、考えたことを伝え合う。</p> <p>○盲導犬の問題について自分の考えを伝え合う。</p> <p>①「盲導犬」について、知っていることをペアで伝え合う。（前時の復習）</p> <p>②「盲導犬」の問題についての情報を得るために、教科書を読む。</p> <p>③教科書本文で使われている語の意味や「主語＋動詞(think など)＋that で始まる節」の構造と意味を理解する。</p> <p>④「盲導犬」の問題について引用しながら、自分の考えをペアで伝え合う。</p> <p>⑤前時までに学んだ引用方法を確認し、それらを意識して、再度、「盲導犬」の問題について自分の考えを伝え合う。</p> <p>⑥ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。</p>				
7	<p>◆教科書(p14, 15)のメール文を読み、引用するなどをしながら、考えたことを伝え合う。</p> <p>○聴導犬の特徴についてわかったことや自分の考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>①「盲導犬」の問題について、ペアで伝え合う。（前時の復習）</p> <p>②「聴導犬」の現状についての情報を得るために、教科書を読む。</p> <p>③教科書本文で使われている語の意味や「主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節」の構造と意味を理解する。</p> <p>④「聴導犬」の特徴について引用しながら、自分の考えをペアで伝え合う。</p> <p>⑤前時までに学んだ引用方法を確認し、それらを意識して、再度、「聴導犬」の特徴について自分の考えを伝え合う。</p> <p>⑥ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。</p>				
8	<p>（本時）</p> <p>◆初見の文章を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合う。</p> <p>○情報を手がかりに、我が家に必要なサービスロボットを選び、自分の考えを伝え合う。</p> <p>①広告を読み、考えなどをペアで伝え合う。</p> <p>②ペアで話した内容を書く。</p> <p>③パフォーマンステストに向けて、自己目標を再確認する。</p>				
9 ・ 10	<p>・パフォーマンステスト</p>		◎	◎	「話すこと（やり取り）」の パフォーマンス
11	<p>・Lesson1 単元テスト</p> <p>・リスニングテスト</p> <p>○自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>	◎	◎	◎	ペーパー テスト

6 単元末におけるパフォーマンステストとそのルーブリック

(1) パフォーマンステスト

①内容

「世の中で役立つサービス」に関する記事(article)を読み、読んだことについて基づいて考えたこと、感じたこと、その理由などを伝え合う。

②準備する課題

次の指示文が印刷された用紙を準備しテスト前に配布する。

世の中の便利なサービスについて興味をもっているALTのアラン先生から「世の中のサービスと私たちの生活」を紹介する記事のメールが送られてきました。どのように考えたり感じたりするか、また互いの意見や感想についてどう思うかについて聞きたいと言っています。

そこで、あなたたちは、その記事を読み、友達と意見交換をすることになりました。「Article about services in our life」を読み、その内容に基づいてペアで意見交換をしてください。読む時間は3分です。意見交換をする時間は2分です。

【Article about services in our life】

Today, some old people are living alone(一人で).

Sometimes they need some help.

There are a lot of services for them.

"A Net Supermarket" is one of them.

Old people are happy that they can enjoy shopping at home.

The shop will send them some food.

But "A Net Supermarket" is a little expensive.

They don't give them special price(特価).

What do you think? Is it a good service?

Do you want to try it?



(83 words)

(2) 「話すこと（やり取り）」の評価規準

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて、次のルーブリックにしたがって評価する。

条件1： 自分の考えたことや感じたことについて述べている。

条件2： 読んだ英文と関連した理由を示している。

条件3： 更に情報や自分の気持ちを付け加えている。

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	条件1～3のすべての項目を満たしてやり取りをしている。	条件1～3のすべての項目を満たしてやり取りをしようとしている。
b	条件1～3のうち、2つの項目を満たしてやり取りをしている。	条件1～3のうち、2つの項目を満たしてやり取りをしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(3) 生徒のやりとり例及び評価結果

【例1】

ア) 生徒のやり取り例

Student A: What do you think of this service?

Student B: I think "A Net Supermarket" is good. [条件1: 自分の考え]

Student A: Why do you think so?

Student B: Because it says "the shop will send them some food."

[条件2: 読んだ英文と関連]

How about you?

Student A: I think "A Net Supermarket" is good too. [条件1: 自分の考え]

Because old people can enjoy shopping at home. [条件2: 読んだ英文と関連]

Student B: I think it is convenient and old people will be happy.

[条件3: 更に情報や自分の気持ち]

イ) 採点の結果

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Student A	[b]	[b]
	条件3 (更に情報や自分の気持ちを付け加える)を満たしていない。	条件3 (更に情報や自分の気持ちを付け加える)を満たして、やり取りをしようとする姿が見られなかった。
Student B	[a]	[a]
	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。

【例2】

ア) 生徒のやり取り例

Student C: What do you think of this service?

Student D: I think "A Net Supermarket" good. [条件1: 自分の考え]

Student C: Why do you think so?

Student D: Because I like net shopping.

My... granpa net shopping too. How about you?

Student C: I think "A Net Supermarket" not good. [条件1: 自分の考え]

Because a net supermarket is a little expensive. [条件2: 読んだ英文と関連]

イ) 採点の結果

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Student C	[b]	[b]
	条件3 (更に情報や自分の気持ちを付け加える)を満たしていない。	条件3 (更に情報や自分の気持ちを付け加える)を満たして、やり取りをしようとする姿が見られなかった。
Student D	[c]	[b]
	条件2 (読んだ英文と関連)と条件3 (更に情報や自分の気持ちを付け加える)を満たしていない。	条件2 (読んだ英文と関連)と条件3 (更に情報や自分の気持ちを付け加える)を満たしていないが、やり取りをしようとする状況は見られた。(My granpa net shopping too. 等)

※ Student C 及び D の発話している英文 (波線) において、不正確な部分はあるが、条件を満たしたやり取りはしていると判断する。

8 本時の学習 【9/11 時間】

(1) 目 標

自分の考えを広げるために、社会的な話題について書かれた文章を読み、読んだことを基に、考えたことや気持ち、理由などを英文を引用したり、簡単な語句などを用いて伝え合うことができる。

(2) 本時の授業の工夫

- ① 単元を通して「読むこと」から「話すこと（やり取り）」への技能統合型の活動を継続的に取り組むことで、情報を手がかりに自分の考えを伝える力が育成できるであろう。
- ② ペアでの言語活動の後に、内容や言語面に関する指導を入れ、再度、言語活動を繰り返すことで、表現の幅を広げることができるであろう。

(3) 展開例

	学 習 活 動	○ 指導上の留意点 ★ 予想される児童生徒の反応	評価項目（方法）
導 入 1 0 分	1 Greeting Warm-up activity "Chatting Time" 2 導入	○あいシップを意識させながら会話の継続に取りくませる。 ○教師の家庭で困っていることを紹介しながら、家庭の様子を聞く。 ・ Who is a busy person in your family? ★ My mother is. ・ Do you help your mother? father? ★ Yes, I do. / No I don't. I am busy too. ○目的・場面・状況を確認する。 ・ So, let's help your family. Why don't we get a service robot for your family?	
展 開 3 0 分	3 めあての確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> Today's Goal: 情報をもとに家族が喜ぶロボットを選び説明しよう。 </div>	
	4 Activity1（読むこと） ①英文を読む（8分） ②読んだことについて内容の確認（3分） Activity2（話すこと） ①読んだ内容に関して英文を引用しながら自分の考えを伝え合う。（1回目） ②全体で共有し、使用できる表現を確認する。 ③ペアを変えて読んだ内容に関して英文を引用しながら自分の考えを伝え合う。（2回目）	○情報を手に入れるために広告を読ませる。 ○個人で読んだことを整理させる→ペアで確認させる→全体で確認する。 ○キーワードとなる表現に注目させながら、それぞれのロボットの特徴を確認する。 ○【努力を要する状況と判断される児童（生徒）への支援】 会話シートを用意し、シートを手がかりに、話すこと（やり取り）ができるようにする。	※指導に生かす評価 【思考・判断・表現】 （概ね満足） 自分の考えをや感想をまとめるために、サービスロボットについて読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するな

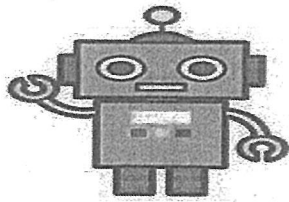
	<p>④再度、全体で共有し、気付いたことなどを確認する。</p> <p>⑤再びペアを変えて、英文を引用しながら自分の考えを伝え合う。(3回目)</p>	<p>★<「話すこと(やり取り)」の例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>StudentA: Which service do you want to try?</p> <p>StudentB: I want to try ().</p> <p>StudentA: Why do you choose it?</p> <p>StudentB: Because <u>it says</u>, ().</p> <p style="padding-left: 40px;"><u>I think my mother will be happy.</u></p> <p>StudentA: That's nice idea. How about you?</p> <p style="padding-left: 40px;">Which service do you want to try?</p> <p>StudentB: I want to try ().</p> </div>	<p>どをして伝え合っている。(方法: 観察)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(概ね満足)自分の考えや感想をまとめるために、サービスロボットについて読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどをして伝え合おうとしている。(方法: 観察)</p>
<p>終 末 1 0 分</p>	<p>5 まとめ 話した内容を踏まえ、「話すこと」の活動で伝えた文を自己評価シートに書く。</p> <p>6 振り返り</p>	<p>○「めあて」に戻り、家族のためにどんなことに注目してロボットを選んだかを確認する。(内容面)</p> <p>○単元を通して学んできたことや「話すこと(やり取り)」の活動で使用した表現を3つの視点で(①自分の考えや気持ち②理由③会話の継続 プラス1文)確認する。(言語面)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ: <自分の考えや気持ち>I want to try ().</p> <p style="padding-left: 20px;"><理由>because it says().</p> <p style="padding-left: 20px;"><プラス1文>I think that ().</p> </div> <p>○これまでの「話すこと(やり取り)」の活動を振り返りながら、ペアでの活動を通して学んだことや気づいたこと、前回よりもできるようになったことなどを記入させる。</p>	

(4) 板書計画

Day: Thursday	Date: May 19th	weather: sunny
Today's goal: 情報をもとに家族が喜ぶロボットを選び説明しよう。		
Question: Which service do you want to try?		
Your Opinion: want (). I think ().	あいしツプ ①Reaction (相づち) ②Question (質問) ③Plus 1 sentence (プラス1文)	
Reason: Because it says " It can ().		
Plus 1 sentence: think (). hope ().		

Lesson1 単元末活動 2-()-() Name ()

家族を喜ばせるためのサービスロボットを購入しようと、あなたはネットで広告をみています。
情報をもとに自分の意見を伝え合いましょう。



Ton-chan

Ton-chan will clean the rooms in your house.

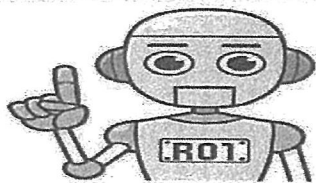
It can send you a *discount coupon.

*discount coupon 割引券、割引クーポン

It can *do the laundries too.

*do the laundries 洗濯

We are sure that it helps you a lot.



Sara-chan

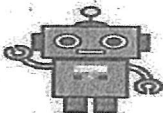
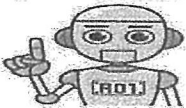
Sara-chan will wash the dishes.

It will show you the food recipe and cook it for you.

It can make you some tea.

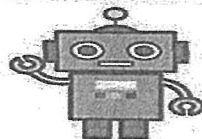
I hope that you will like our robot.

(1) それぞれのロボットについて情報をまとめよう!

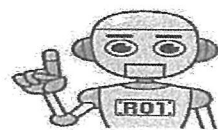
Service Robots		Information (English or Japanese)	
	Ton-chan	☆	
		☆	
	Sara-chan	☆	
		☆	

(2)

Your opinion (○をつける)



or



Reason (理由)

(3) Check! (○をつける)

1	自分の考えを伝える	できた	もう少し	できなかった
2	情報をもとに理由を伝える	できた	もう少し	できなかった
3	会話を続ける(相づち、プラス!文、関連する質問など)	できた	もう少し	できなかった
4	家族のことを考えてサービスを選ぶ。	できた	もう少し	できなかった

2-()-()Name ()

Chatting Time Sheet

5月までの目標:

愛シップを活用して、1分以上、会話を続けることができる。

【愛シップ】CHECK

O...2回以上できた

△...1回できた

X...できなかった











Date	Topic	Note	ターン数 (正を 記入)	① 相 づ ち	② 質 問	③ プ ラ ス 文
/	例	Yesterday				
/	1	This weekend				
/	2	Favorite food				
/	3	Sports				
/	4	Music				
/	5	Movies / anime				
/	6	Hobby				
/	7	Favorite season				
/	8	Birthday				
/	9	Yesterday				
/	10	Housework				

Chunk-De-Go

Your Goal

/ 50

できたものに○をつけていきましょう!

	English	Level 1 見て 読める	Level 2 見ないで 意味が わかる	Level 3 見ないで 英語で 言える	Level 4 見ないで 英語で 書ける	Level 5 ___を アレンジ できる	Japanese
1	send a message						メッセージを <u>送る</u> 
2	wear a harness						胴輪を <u>着ける</u> 
3	a thousand people						1000人 
4	give you a book						あなたに本を <u>与える</u> 
5	need training						訓練を <u>必要と</u> <u>する</u> 
6	take effort						努力がいる 
7	in the case of rain						雨の場合は 
8	notice the dog						犬に <u>気づく</u> 
9	lead the dog						犬を <u>導く</u> 
10	at work						仕事中で 

Chunk-De-Go Practice Sheet

※言いながら書いて覚えましょう!

[illegible]

Chunk-De-Go Check Test

Date	Answer			Score
/	①	②	③	/ 3
/	①	②	③	/ 3
/	①	②	③	/ 3
/	①	②	③	/ 3